

臨床で役立つ灸療法

～灸療法は古くない 症状・疾患を見極めると相当な効果が期待できる～

◆座学：灸適応と他の治療への振り分け

臨床歴 52 年から

- ・近年の灸法の歴史 家伝灸・現在の一般的取穴法への移行
- ・経穴は動く
- ・100 年以上前の澤田流基本穴を今日に生かす
- ・直接灸の適応疾患
- ・パワーポイントにより疾患別灸療法

◆実技：少取穴で効かすには

- ・確実な百会穴から上星穴の専用メジャーでの取穴法
- ・花粉症・頭痛頭重の頭部置鍼灸（灸頭鍼ではない）
- ・逆子・便秘の名灸 透熱灸でなければ効かない
- ・ドライアイ・足底痛・乗り物酔い・食中毒

※有資格者の講習会ですので、御自身に及びペアーを組んで実際に取穴・施灸して頂きます



池田良一先生 大阪明治針灸柔整専門学校卒業 鍼灸師・柔道整復師
灸頭鍼第一人者大阪田中博先生・代田文誌先生の高弟長野倉島宗二先生に師事
長野県豊野町（現在長野市）にて開業 (社)長野県針灸師会会長 5 年春の叙勲受章
針通電の研究・長野冬季五輪を機にスポーツ鍼灸師を育成・年々忘れかけて行く灸療法を見直す
3 回の針灸師友好訪中団副団長として中国医学部等で日本式「直接灸」を紹介
全国から灸療法講師の依頼
著書
そうだ灸をやろう ベテラン治療家に学ぶ「鍼灸臨床のコツ」 66 症例から学ぶ「鍼灸不適応疾患の鑑別の対策」ほか多数 すべて医道の日本社出版

【講師より一言】

長野県は、著名な鍼灸師が生まれ育った地で、日本鍼灸師会元会長木下晴都先生・大阪の米山博久先生・澤田健先生の弟子で現代鍼灸の父とも呼ばれた代田文誌先生（御子息は代田文彦先生）は治療に奔走される傍ら、大勢の鍼灸師が砂漠で水を得たように先生の元へ通り知識技術を身につけたと聞き及んでいます。

座学でお話ししますが、戦前は〇〇流の灸・▽▽家伝の灸と医学？時代でした。敗戦後 GHQ は鍼灸を野蛮とし禁止令が出される寸前、代田先生をはじめ諸先輩方々の奮闘で取り下げられ今日があります。

代田先生の名著「針灸治療の実際」は疾患の解説と治療法が記された日本初の著書と思いますが、この本の治療点はほとんどが灸点で、私は駆け出しの頃手本にして多数取穴でしたが、恩師の倉島宗二先生（代田先生の高弟）に患者の症状に合わせて取穴するものだと教えられ、それからなるべく少取穴・少壮数・少熱感をモットーとしてまいりました。本日はこの 3 少を基本にテーマ「臨床に役立つ灸法」を進めてまいります。

【日時】 令和 5 年 11 月 5 日（日） 13:00～16:10

【場所】 呉竹鍼灸柔整専門学校 実技室

【定員】 本校卒業の鍼灸師 30 名（先着順）

【受講料】 3,000 円（鍼代含む）

【申し込み】 右の QR コードから（10 月 25 日締切）

